令和七年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・国語　問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注　意

一　この問題は**三問、五ページ**で、時間は**六十分**です。

二　解答用紙は、**別紙**で配付します。**「始め」**の合図で始めてください。

三　**解答**は、それぞれの問題の指示に従って**解答用紙**に記入してください。

四　**「やめ」**の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。

五　**解答用紙を持ち出してはいけません。**

高等学校　国語

一　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

※著作権法に基づき掲載は省略します

出典は郡司ペギオ幸夫「創造性はどこからやってくるか ―天然表現の世界」（二〇二三年・ちくま新書）
なお、一部省略した箇所がある。

語注
※1 マルセル・デュシャン……フランス出身の芸術家（一八八七～一九六八）。
※2 エルザ・フォン・フライターク……ドイツ出身の芸術家（一八七四～一九二七）。
※3 コンセプチュアル・アート……概念芸術。

問一 傍線部①「ギメイ」、②「ケイサイ」のカタカナを漢字に直せ。

問二 空欄 A 、 B に入る言葉を、それぞれ本文中から漢字二字で抜き出して答えよ。

問三 傍線部③「似て非なるもの」は、「似而非者」に由来する言葉である。「似而非」の読みをひらがな二字で答えよ。ただし、現代仮名遣いとする。

問四 傍線部④「芸術を殊更に『むずかしいもの』にしてしまっている」とあるが、その理由を筆者はどのように述べているか。五十字以上、六十字以内で答えよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

問五 傍線部⑤「思考の水準を徹底して異にする意図と実現が混同される」とあるが、どういうことか。このことが具体的に述べられている一文を本文後半のラーメンの事例の中から抜き出し、最初の十字で答えよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

問六 空欄 C に当てはまる四字熟語として最も適当なものはどれか。次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 因果応報　イ 虚心坦懐　ウ 疑心暗鬼　エ 粒粒辛苦　オ 自家撞着

問七 傍線部⑥「外部を召喚する」とあるが、創造において外部を召喚するためにはどのような仕掛けが必要であると筆者は述べているか。五十字以上、六十字以内で答えよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

問八 傍線部⑦『トラウマ構造』を実現している」とあるが、「トラウマ構造」とはどのような構造であると筆者は述べているか。「構造」に続くように、本文中から二十字以上、二十五字以内で抜き出して答えよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

二　次の【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】を読んで、後の問いに答えよ。

【文章Ⅰ】



出典は「新編日本古典文学全集　枕草子」（小学館）。ただし、表記を改めた箇所がある。

語注
※1　地火炉……いろりの類。　※2　博士……大学寮の教官。世襲制であった。　※3　轅……牛車の両側の長い柄。

【文章Ⅱ】

平安時代前期に漢詩文で名声の高かった小野篁は、大学の学生であった頃、腹違いの妹に漢籍を教えていた。次第に二人は親しくなり、一緒に月を見て話をしているところと、それに続く場面である。



出典は「日本古典文学大系　篁・平中・演松中納言物語」（岩波書店）。ただし、表記を改めた箇所がある。

語注
※4　曹司……部屋。　※5　うそぶき……詩歌を口ずさむ。　※6　かくひち……角筆。象牙製の筆形の文具。
※7　博士……ここでは先生の意。

問一　波線部（a）～（d）の「に」について説明したものとして最も適当なものを、次のア～キの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

ア　副詞の一部　　イ　形容動詞の活用語尾　　ウ　動詞の活用語尾
エ　断定の助動詞　　オ　完了の助動詞　　カ　格助詞　　キ　接続助詞

問二　傍線部①「あるじせ」、⑧「ひがこと」の本文中での意味を答えよ。

問三　傍線部②「今はもて来ぬらむかし」、④「さななり」、⑨「博士とはいかが頼まむ」を現代語訳せよ。ただし、④は「さ」の指示内容を明らかにすること。

問四　傍線部③「いとわびしくすさまじ」とあるが、【文章Ⅰ】の作者がそのように思ったのはなぜか、簡潔に説明せよ。

問五　傍線部⑤「おはします」は誰に対する敬意を表しているか。次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア　侍者　　イ　必ず来べき人　　ウ　家の内なる男君　　エ　作者　　オ　中宮定子

問六　傍線部⑥「あな、すさまじ。師走の月夜ともあるかな」について、次の（1）、（2）の問いに答えよ。

（1）　源氏物語（総角巻）にも「世の人のすさまじきことに言ふなる師走の月夜」とある。このことを踏まえ、傍線部⑥で「師走の月夜」を「すさまじ」と評している理由を十字以内で答えよ。

（2）「師走の月夜」と同様の理由で【文章Ⅰ】の作者が「すさまじ」と感じているものを、【文章Ⅰ】の本文中から三つ抜き出して答えよ。

問七　［B］「年をへて…」の和歌について、次の（1）、（2）の問いに答えよ。

（1）「みそか」は「晦日」と「密」の掛詞である。「晦日」は、［A］の和歌の中から抜き出して答えよ。

（2）大意を説明せよ。

問八　傍線部⑦「入りにけり」とあるが、それはなぜか答えよ。

問九　あなたが、言語文化の授業で、次の［　　］のイの資質・能力を育成するために、【文章Ⅰ】及び【文章Ⅱ】を教材の一部として用いるとしたら、生徒主体の授業を展開するために、どのような言語活動を設定し、どのような工夫をするか答えよ。

A　書くこと

（1）書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ　自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。

（「高等学校学習指導要領（平成三十年告示）」より抜粋）

二

次の文章は「晏子春秋」の一節である。これを読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合上、訓点を省略した箇所がある。

※著作権法に基づき掲載は省略します

出典は「新編漢文選　晏子春秋　下」（明治書院）。ただし、表記と訓点を改めた箇所がある。

語注

※1　晏子……春秋時代の斉の政治家である晏嬰の尊称。　※2　坐……罪を犯す。　※3　橘……食用のミカン。

※4　淮……淮水という河。　※5　枳……橘に似ているが、酸味が強くて食用にはならない。　※6　熙……戯れる。

問一　傍線部⑤「酣」、⑦「固」、⑨「徒」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。ただし、現代仮名遣いとする。

問二　傍線部①「晏子将至楚」、④「何為者也」、⑩「所以然者何」をそれぞれ書き下し文に改めよ。ただし、④、⑩はすべてひらがなで書き下し文にすること。なお、現代仮名遣いとする。

問三　傍線部②「吾欲辱之」とあるが、結末はどのようになったか、本文の内容を踏まえて簡潔に答えよ。

問四　傍線部③「左右対曰」の会話の内容は、傍線部直後の「為其来也」からどこまで続くか、会話の終わりの漢字三字を答えよ。

問五　傍線部⑥「縛者曷為者也」、⑫「聖人非所与熙也」を現代語訳せよ。

問六　傍線部⑧「橘生淮南則為橘、生于淮北則為枳」について、次の各問いに答えよ。

（1）　書き下し文に改めよ。

（2）　傍線部⑧は次の［　　］の「列子」の一節を踏まえたものである。二重傍線部の理由を『晏子春秋』の本文中から漢字四字で抜き出して答えよ。



出典は「新釈漢文大系　列子」（明治書院）。
ただし、表記と訓点を改めた箇所がある。

語注
※1　橘……柚。柑橘類。　※2　憤厥之疾……のぼせる病気。
※3　鸜鵒……百舌（もず）に似た小鳥。
※4　済……済水という河。　※5　貉……むじな。
※6　汶……汶江という揚子江の上流。

問七　傍線部⑪「得無楚之水土使民善盗耶」について、「楚の水土民をして盗を善くせしむること無きを得んや」という書き下し文になるように返り点を施せ（送り仮名は不要）。

問八　本文を基に「橘化して枳と為る」という成句が生まれた。その成句の意味を答えよ。

令和七年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

高等学校　国語　解答例

受検番号

氏名

切り取らないこと

※印のところは記入しない

高・国語1

※

※

一　30点

問一	①	偽名	2点×2
	②	掲載	
問二	A	意図	2点×2
	B	実現	
問三	え	2点	
	せ		
問四	現代芸術では、多くの場合、無関係なものを特定の文脈や条件のもとで関係づけ、一致さ		60　5点
問五	せなければならないと認識されているから。		4点
問六	オ	3点	
問七	制御不可能な現実世界の文脈や条件によって異質な二者がそれぞれ意味を変え続けること		60　5点
問八	異質なものを共に肯定する	構造	3点

二　39点

問一	a	ウ	1点×4
	b	イ	
	c	カ	
	d	オ	
問二	①	主人役として人をもてなす	1点×2
	⑧	間違い	
問三	②	今はもうきっと持って帰って来ているだろう	3点×3
	④	どうやら必ず来るはずの人が来たようだ	
	⑨	漢籍の先生としてどうして頼りにしましょうか、いや、頼りにはしません	
問四	わざわざ見た目もきれいに書いて送った手紙が、相手に届かなかったうえに、乱雑に扱われて手許に戻ってきたから。		3点
問五	イ	2点	
問六	1	時機が合わないから。	2点
	2	昼ほゆる犬／春の網代／三、四月の紅梅の衣	1点×3

これ以降の解答欄は裏面に続く

問七	1	かぎり	2点
	2	師走の月に限って感慨深く思われるのは、あなたに密かな思いがあるからで、そのような思いのない私は何年たっても月を見飽きることはありません。	4点
問八		夜が更けてしまったので、筆と二人でいるのを人が変に見るであろうと思ったから。	3点
問九	言語活動	【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】にみられる伝統文化や季節感に関わる表現、和歌などを参考に、オリジナルの随筆を書く活動。	2点
	工夫	自分の思いが効果的に伝わる方法や記述する際の留意点などについて話し合った内容に基づいて相互評価を行い、随筆作品の書き直しに生かすなど、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するように工夫する。	3点

三　31点

問一	⑤	たけなわにして	⑦ もとより ⑨ ただ　1点×3
問二	①	晏子将に楚に至らんとす	2点×3
	④	なんするものぞと	
	⑩	しかるゆえんのものはなんぞや	
問三		晏子の巧みな弁説によって言い負かされ、逆に恥をかく結果となった。	3点
問四	曰 坐 盗		3点
問五	⑥	縛られているのは何者か	3点×2
	⑫	聖人とは一緒に戯れられません	
問六	1	橘淮南に生ずれば則ち橘と為り、淮北に生ずれば則ち枳と為る	2点
	2	水 土 異 也	3点
問七		得無楚之水土使民善盗耶（レ 三 二 一 レ）	2点
問八		人間は境遇や環境によって気質が変わる。	3点